



関西中規模私大で唯一。文科省 DX 教育高度化事業選定 AI・システム統合による学生の学びの個別最適化を加速へ

ポストコロナ時代をみすえ、大学等におけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進を支援する、文部科学省(文科省)の新規事業「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」。追手門学院大学(略称:追大。大阪府茨木市、学長:真銅正宏)がコロナ禍前より進めていた「OIDAI DX 推進計画」が、関西の中規模私立大学では唯一、選ばれました。[文科省報道発表資料](#)(クリックするとリンク先へ)

【ポイント】

- 文科省「デジタルを活用した大学等教育高度化プランの学修者本位の教育の実現」に追大が選定
- 関西の中規模私立大では唯一、関西以西に中規模キャンパスを持つ私立大でも唯一の選定
- 情報基盤アップデート、各学修支援システムの統合、教育ビッグデータ化、AIによるTAの導入

文科省が本年1月15日～2月1日に公募した「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」には、全国の大学等から252件の申請があり、追大を含む54件が選定されました。公募には①「学修者本位の教育の実現」と②「学びの質の向上」の2つのメニューがあり、①は1件あたり1億円、②は3億円の財政支援が受けられます。

追大が選ばれたのは①のメニューです。私立大学93件中22件(選定率23.7%)の選定で、関西の中規模私立大学では唯一、関西以西の中規模キャンパスを持つ私立大学でも唯一の選定です。

このように中規模大学でのモデルケース化を期待される中、追大は2018年に発表した独自の学修スタイルの「行動して学び、学びながら行動するOIDAI WIL(Work-Is-Learning)」の実践と、「ICT等を活用し教育内容にマッチした最適な手法で教育効果の最大化を実現するOIDAI MATCH(MAximized TeaCHing)」の実績をベースに、DXでより高度化し学修者である学生本位の教育を2021年度から進めます。

「OIDAI DX 推進計画」では、外部と10Gの通信が可能な情報基盤を整備し、①授業ごとに対面とオンラインを柔軟に選択できるようにします。

また、学生と教員間で教材の共有や進捗確認をオンラインで行う学習管理システム(LMS)などの②各学修支援システムを統合・ビッグデータ化し、AI解析による学修成果の可視化(ラーニング・アナリティクス)をすると同時に学生個人の最適な学びを支援する「AIティーチング・アシスタント・システム(AIによるTA)」を構築します。

そして高度化したデジタル環境基盤を活用し、③長期インターンシップをしながらオンラインでも授業を受けられるプログラムや、国内にいながら海外留学に準じたプログラムをオンラインで受講できる仕組みも整えていきます。

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・仲西